



多くのことを学んだ5年生の社会見学

11月7日(月)5年生が社会見学に行きました。5年生は社会科で産業の学習をします。その中で取り上げられている自動車工場などの工場見学にバスで出かけました。コロナ禍で受け入れていただける企業も少なく、本校では3年ぶりの5年生の社会見学となりました。



最初の目的地は本田技研鈴鹿製作所です。広大な敷地にある自動車工場なので、敷地内もバスで移動して、自動車の組み立てラインを見学させていただきました。見学時にはNボックスとNワンがライン上で組み立てられていました。見学している横を、部品を運ぶカートがせわしなく行き来している中で、子どもたちは案内をしていただくガイドさんの指示に従って安全に組み立てラインで働く人々の様子を見せていただくことができました。組み立てラインを流れる間に手際よく部品を取り付ける様子や働く人が作業をしやすいように自動車を運ぶ台車が高さを変える様子がよくわかりました。また、力が入る座席シートやフロントガラスなどの取り付け作業は、ロボットが活躍していて、その動きの巧みさに驚かされました。その後、ホールに入り本田技研鈴鹿製作所の歴史や概要についての説明を動画等で見せてもらいました。1台の自動車ができるまでには、多くの関連会社や多くの人々の苦勞があることを学ぶことができました。

その後、昼食場所の鈴鹿フラワーパークに移動し、芝生が広がる公園でお弁当を食べました。小鳥のさえずりを聞きながらさわやかな秋晴れの空のもとお弁当をおいしくいただきました。

最後の目的地は味の素東海事業所です。四日市市に戻り、23号線沿いにある味の素の工場を見学させていただきました。味の素では様々な調味料やスープ、サプリメントなどを生産しているそうですが、今回は2020年にできた「ほんだし」の工場を見学させていただきました。原料となるかつお節が細かく砕かれ、それが他の調味料と混ぜ合わされて顆粒状になるところや、できた「ほんだし」が袋に包装され、検査に合格したものが箱詰めされる様子を見ることができました。



食品工場なので、働く人の服装や工場内の環境が清潔に保たれている様子や、機械化が進み工場の広さに比べ働いている人が少ないこともわかりました。また、みそ汁に出汁が入っていないものと「ほんだし」を入れたものを試飲させてもらい「うまみ」を感じたり、かつお節を削らせてもらったりする体験もさせていただきました。お土産に「ほんだし」と「味の素」をいただき帰途につきました。

今回、「サプライチェーン」という言葉を教えてもらいましたが、自動車や調味料など一つの商品ができて消費者に届くまでには、多くの関連会社や多くの人々の役割や苦勞があることなどを実際に学ぶことができた有意義な社会見学となりました。

1年生 交通ボランティアさんとの交流会

11月17日(木)1年生が生活科「安全に歩こうわたしたちの通学路」の学習で交通ボランティアのみなさんから話を聞かせていただきました。

校区内には通学路であっても危険な箇所がいくつかあります。そのような危険箇所、天気を問わず交通ボランティアなど地域のみなさんに登校中、見守りをしていただいています。1年生の子どもたちは、「なぜ交通ボランティアを始めたのですか」「何時から何時まで立っていますか」など様々な質問をしていました。そして、「交通事故にあわないように、命を大切にしてほしい」「交差点では必ず止まって右左を確認してほしい」「道を広がらずに歩くように」など、交通ボランティアさんの願いや思いを知ることができました。最後に感謝の気持ちを込めて1年生が「校歌」をお礼に歌いました。交通ボランティアのみなさま、ありがとうございました。

子どもたちの安全に交通ボランティアの方々はなくてはならない存在です。四郷小学校では交通ボランティアさんの募集を引き続き行っています。お知り合いの方でお願いできる方がみえましたら学校までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

感染症予防への対策について

すでに報道されている通り、このところ全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加し、「第8波」に入りつつあるといわれています。また、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されているところです。今後も引き続き、以下の通り感染症予防対策に取り組みながら学校教育活動を進めてまいります。

体調不良等の場合について

- 発熱に限らず、咽頭痛や咳・頭痛など、普段と異なる症状がある場合には登校を控えていただきますようご協力願います。
- 児童本人はもちろん、同居のご家族についてもコロナの陽性が確認された場合は、必ず学校へご連絡ください。

学校における基本的な感染症対策について

- 「手洗い等の手指衛生」「換気」「三密の回避」「適切なマスクの着脱」など基本的な感染症予防対策に引き続き取り組みます。
- 暖房使用時でも窓開け等の換気対策を十分に行います。CO2濃度測定器を各教室で活用し、二酸化炭素濃度を1000ppm以下に維持します。

場面に応じた適切なマスクの着脱について

- 十分な身体的距離(めやす2m)が確保できる場合にはマスクの着用の必要はありません。距離が保てず会話をする場合はマスクの着用が必要です。
- 季節を問わず、体育の授業中や登下校の際には、感染対策上の工夫や配慮を行いながら、マスクを外すように指導しています。
- 活動場所・活動場面に応じたメリハリのあるマスクの着脱が行われるよう指導しています。
- 様々な理由からマスクの着脱ができない児童に対して、本人の意に反した無理強いやマスクの着用の有無で誹謗中傷がされないよう十分に配慮します。

